



魔王ちゃんの  
魔界改革日記

魔王ちゃんの



魔界改革日記

新生魔王歴69年 赤ノ月 21日

私の名前はマオ・ルシルトル、15歳、A型の魔族娘！  
雷帝と言われた伝説の魔王様が、先祖だけの  
普通の女子学生のはずだったんだけど、



いきなり魔王に指名されて！  
今日から魔王になったのだ！

でも魔王城に来るときも独りだったし  
着いてからも、みんななくれんぼしてるみたいに、誰も姿を見せないのだ。  
誰もいないわけじゃなくて、誰かから隠れるように息をひそめてる感覚。  
その時ギシツと鎧が軋むような物音がして見つけた初めての人影…。  
私は近づいて声をかけたの…。

チヨリィーッス♡

お初ッス！マオだよ♡

新しく来た魔王だよ！

イエィ♡よろしくね？

その人影は剣を携えて鎧で身を固めてはいたけど…  
暗闇に覆われていて、魔物に見えた。

魔王…滅する…

俺は…勇者だ…。

魔王城のみんなが隠れていた理由の  
謎が解ける。

怖ろしい勇者が魔物を探して  
城を闊歩していたのだ。

私はその場を動けないほど

動揺する…

だって勇者は…私に…



やめてよ  
勇者君！

勇者は私の服を脱がせながら、私を魔王の王座に押し倒した……。何の力もない私には抵抗する事も出来ずされるがままを受け入れるしかなかった。



勇者は荒い息遣いだけで、  
言葉を発することもなく、  
私の露わになった乳房を  
乱暴に揉みながら、  
私の性器に、  
興奮し充血した男性器を  
押し当てた。

こんな  
悪い人がする「ことだよ」  
勇者君……

毛サッ♡

毛サッ♡

ん♡

しゅわ……



あ♡ん♡痛♡

フツオオオツ  
魔王…犯す…  
オオオオオオ…

勇者は何の躊躇もなく  
欲望のままに私の初めてを  
押し割って中に入れてくる…

勇者くうん…

痛いよ…

らめつなののお…

ググッ…

ブッ  
ブッ  
ブッ





初めての痛みに  
転がるように  
逃げ出した私を、  
勇者は追いかけて、  
無言で性器を  
再度挿入し  
激しく腰を振った…。

勇者くうん…  
らめ…  
痛いよ…  
お願い…

懇願する私に、  
勇者は小声で何か  
呪文を唱えると、  
それは治癒魔法のよつで  
痛みが治まっていく。

ゲハハア…  
犯す…犯す…

初めての出血が消えた  
私の性器を見て  
勇者は下品に笑って、  
鼻息を荒くしながら、  
さらに激しく腰を打ち付け始める。







勇者は、私を数回レイプすると、何も言わずに私を解放し、そのまま城を徘徊し続けた。

魔王……滅する……  
絶対に……殺す……

闇に包まれた勇者は、言葉とは逆に私は殺さずに、城を歩きつくすと消え去るように居なくなつた……。



勇者きゅんってば最悪！  
女の子の初めてを何だと思ってるのさ！

申し訳ありませんぬ…魔王様…  
助けたくとももう魔王城には  
戦闘員は残っておりませぬゆえ

気づけば目の前に、  
小柄な猫のフードを被ったおじさんがいた。  
その人が魔王城で初めて会った味方だった。

猫きゅん♡

…魔界大臣のスプリングルスと申します。  
さっきのあやつめが『闇に堕ちた勇者』  
あやつがたびたび魔王城に攻めてきますゆえ  
魔王親衛隊も全滅し、  
すでに今年に入ってからでも、  
7名の魔王様が殺されております。

やっと謎が解けた。

どうして魔王から縁遠い末裔の私に  
魔王位が来たのか…。

勇者きゅんが魔王を倒し続けているせいで、  
魔王の正統の血筋が死に絶えたのだ。



わかったよ！猫ぎゅん！  
まず勇者きゅんを何とかする」ことが  
魔王最初の大きな仕事だね！

おお…なんと頼もしい…  
今まで勇者と対峙して  
生存した魔王様はいなかったのに、  
生き残りそして  
勇者打倒の意志を示すとは！  
まさしく覇道を往く魔王様！  
着いてまいりますぞお！

とりあえず猫ぎゅん  
キヤピオカミルクティーでも  
用意してくれたまえ♡

…メイドもみんな逃げてしまい…  
…あと猫ってやめていただけませぬか？  
せめて大臣と呼んでいただければ…

ニツクネーム付けたいじゃん？  
カレー店長さんがいい？

猫でお願いします…



ホレましたゾー

赤ノ月 24日 魔王城大広間にて

おーい♡

猫きゅん♡紅茶はあるんだけど♡

キヤピオカがないんだよ♡

アレはエルフの国でも品薄だよ

魔界にはないの？

おお…魔王様はエルフの国出身でしたな。

エルフ娘たちの主食とまで言われるキヤピオカ…

魔界にはドピオカという芋がありますぞ！

しかし広大な畑もあるので…

アレは女手がないと持ち帰れぬ芋

今の魔王城は使い魔は多数いれど

女子は勇者から逃げてしまっておりませぬ。

そうか猫きゅん♡

じゃあ女子のマオちゃんが

取りに行くことにするよ！

魔王の仕事は「飯から！」

おお…さすが魔王様…

食事から政治を見極めようと言う事ですな！





おん♡待っ〜！  
+ニムン？

ド。ピュオカ畑に入った瞬間だった。  
ド。ピュオカのツルが私の身体の柔らかい所に  
食い込みながら絡みついで、  
私の服を剥ぎ取って裸にしていくのだ。  
猫きゅんは遠くから当たり前のように見てるし、  
どうもこれが女子しか芋を持ち帰れない理由っぽい。

**最悪！キモい！セクハラ植物！**



ツルのひとつが膣に入り込む…  
私のカラダは勇者きゅんにパンパンされてから  
濡れやすくなっていて脈打つ太いツルを  
簡単に奥まで飲み込んでいった。  
ツルは本能のままに私の気持ちいい所を、  
ねじりながらかき回して、  
私の膣を愛液で満たしていった。

ん♡ あ♡

トってる♡

ん♡

ん♡

アノミ

アノミ



ツルは内側に子芋を包んで脈打ち、私の膣内に子芋を送り込み続ける。私の気持ちいい所を圧迫しながら次々と入ってくる芋と蠢く膣の感覚は、快感になって私は何度も絶頂を迎え、私はお腹にたくさんの子芋を仕込まれて、使い魔に運ばれて魔王城に帰る事になった。



ん♡  
ん♡  
ん♡  
ん♡  
ん♡

や♡

らぬ♡ん♡ん♡ん♡

ゴホ♡ゴホ♡

ゴホ♡

ビク♡

ビク♡

魔王城に着く頃には  
お腹の子芋が膨らんで  
妊婦さんみたいにな  
っていた。

お腹が苦しいよ  
猫きゅん……

♡♡♡♡



産芋ができてこそ  
魔界女子ですよ！  
さあカんでくだされ！

ん♡

ガズー

少し力を入れると紫色の芋が、  
膣をかき分けて湿った音を立てて顔を出した。  
お腹の圧迫感から少しずつ解放されていくのと  
膣を潜り抜けてお腹の中で成長した芋が  
出ていくのが、身体が浮かぶような浮遊感があって  
性行為とは違う気持ちよさがあった…。

うんまお！

A/A♡

A/A♡



こんな太い芋まで  
成長するとは…魔王様！  
大家族でも養えます！  
嫁にしたいくらいですぞ！

あ♡  
ひゅ♡

出てるよ♡  
見ないで♡

猫きゅんは、  
何かに興奮したように  
ずっと私が産芋するのを  
鼻息荒く見ていた。  
超気持ち悪かった…。  
結局でっかいバケツ一杯分の芋を  
収穫したんだけど。

誰が食べるんだこんなもん

ウワン  
ウワン

サイコホぞぞぞ！

じゅる♡

じゅる♡  
じゅる♡



猫きゆん！  
今すぐドピュオカ畑を大幅縮小して  
キャピオカ畑にしなさい！

そ…そんな…ドピュオカは魔界娘のたしなみ  
伝統ある花嫁修業のひとつなのですぞ！

あんなセクハラしてたから  
メイドさんが逃げちやうんじゃん！  
古臭い伝統は改革するの！

メイド達が嫌がっていたはずは…  
いつも大臣である私が見届ける中で  
メイド達は産芋をし、優しく褒めていたのだ…

いや…マジでブツコロすよ？  
カレー店長？

はっ…今すぐキャピオカ畑への変更を  
使い魔に命じます…  
なので好感度で呼び方を  
格下げするのやめてください…

勇者まっちゃんの  
せいじゃない！  
セクハラのせい…



キヤピオカをいっぱい作って余った分は  
エルフの国と交易するよ！  
それでエルフの国から  
可愛いメイド服を仕入れて  
メイドさん達を呼び戻すの！  
可愛いメイドさんが居たら  
メンズなんてすぐ集まるんだから！

おおさすが魔王様！  
伝説の雷帝にも劣らぬ政治手腕！  
言っとおりに致しますぞ！

猫きゅん！  
マオの言うとおりにすれば  
絶対に勇者きゅんをなんとかできるから  
信じてついて来てね！  
**マオちゃんが魔界改革してあげる！**

魔王として、これが最初にした改革で、  
魔王城は収入を確保しメイドさんが戻り  
ちよっとだけ活気を取り戻したのだった。



墨ノ月 3日



私はオークさんに集団レイプされてる。  
魔王城にメイドさんが戻ったのは  
良かったんだけど、メイドさんが  
行方不明になる事件が起きて…  
調査を始めたら、  
犯人はオークさん達でこうなった。

らめなの♡  
マオは魔王なの！



せん♡

せん♡  
せん♡

せん♡

ズン♡  
ズン♡

ズン♡

ズン♡

お前みたいなのエルフくせえのが  
魔王様な訳ねえだろ？  
エルフは黙って孕んで村に帰れや

女の子しかいないエルフ族にとって  
絶倫なオーク族は子種の提供者で、  
古来から遺伝子に刻まれた関係で  
村を焼かれてもレイプされても  
本能的におちんちんに逆らえないのだ。

うぬ♡  
精子出てる♡  
ん♡ん♡ん♡

あ♡  
びゅん

ん♡  
ん♡  
ん♡

びゅん  
びゅん  
びゅん  
出てる♡



半分エルラの血を引く私も  
例外ではなく、  
10人以上のオークさんに気持ちよく  
イカされて子宮に溢れかえるほどの  
濃厚な精液を注ぎ込まれた。



そこに猫きゅんが助けに来てくれた♡

コフ！オークども！

魔王城から消えたと思ったら  
こんな所で何をしておるか！

おお！これは元大臣！

お久しぶりです！

誰が元大臣だ！

現役で魔王様にお仕えしておるわ！

へ？魔王様の血筋って途絶えたんじや？

末裔であるがかの雷帝の血を引く継承者  
お前らが…アししちやった…マオ様こそが  
現在の魔王様である…

俺らオークって血の盟約により

魔王様に逆らったらゲヘナの谷に身を投げる決まりに…  
俺らヤバくないツスか？

とりあえず死ぬ気で謝れ…



メイドを拉致したり…  
マジさーせんでした…  
今日からまた魔王城に戻って  
言う事聞きます。

もう！マオ気持ちよくなかったら  
谷に突き落としてたんだからね！  
これからはキャピオカ栽培、  
大工さん！警察官！  
それから子供が欲しいエルフの所に  
精液派遣業！  
ちゃんと仕事をしてもらっよう！  
遅しくてエッチ凄いなだから  
働いて結婚もしなさい！

へ？そんなこといいんで？  
むしろ俺ら定職に就きたい…

うむ！マオ様は魔界改革者なのだ。  
GDPも貿易黒字も大幅アップしておる。  
安心するがよい。

こうして魔王城はかつての人員を取り戻しながら  
経済基盤を整えていったのだ





んっっ♡  
気持ちよかったあ♡  
…ふう♡  
…でそこで覗いてる  
カレー店員さん…。

いきなり  
店員に降格！

勇者きゅんについて  
知っている知識を  
教えなさい。

勝利のため「まず  
敵を知るのですな…  
さすが魔王様！  
闇に堕ちた勇者は  
孤独な男でした…



猫きゆんの説明をまとめると、勇者は、あまりにも力が強すぎた。幼少期より異能を発揮し、平和な時代にはその強すぎる力は恐怖され、世界中を転々と流浪する。同じ場所に一番長くどどまったのでも一年ほどだったという。

そして、魔王と人間の争いが始まると、人間は手のひらを返したように、勇者に救いを懇願し、魔王退治を願った。人間に恐怖され、嫌っていたはずの勇者だが、なぜか魔王との闘いに出向く。しかし孤独の勇者は仲間を頼らず1人だった。

どんなに強くても独り、勇者は魔王に敗北する。だが勇者は敗北を認めず、戦い抜いた。己の力と世界を呪い闇に染まっても力を求め、その力で立ち上がりついに魔王を殺害する。

だが魔王を倒すより前にすでに勇者は死んでいた。

勇者は死す時に自らの死体に『魔王を殺すために闘い続ける』という呪いをかけて自らの身体をゾンビにして魔王を倒したに過ぎなかった。

勇者がなぜそこまでして勝ちたかったのかは謎であるが、勇者の強すぎる力は、いまだに作用し、魔王を殺し続けるゾンビとして今も世界をさまよっている。



そんなことより猫きゅん  
マオちゃんはセツクスがしたい♡

はっ？いったい何を？魔王様？

勇者きゅんとの初エッチの時に、  
太いので奥の方をグリグリされて  
すごく気持ちよかったんだ♡  
オークさんなら届くんだけど  
マオちゃんが魔王ってわかると  
全然してくれないのだ…。  
猫きゅんちんちん大きい？

魔王様？  
私如きが恐れ多い…  
ですので  
それならいい方法が…  
魔王としての強い力を  
得れますし、  
相手は魔神ですので  
不足はないでしょう…

魔神と  
エッチ！  
する！

こうして魔神とエッチすることになった♡



墨ノ月 13日

朝目覚めると、  
魔王城よりもはるかに高くそびえ立つ  
怖ろしい見た目の木のようなものが  
存在していた…。



アレは魔神樹様ですぞ！  
もう魔導師としては現役を退いた身ですが、  
この老骨はハッスルしまして  
魔王様のお相手として相應しいレベルの方を  
召喚しましたぞ！

ちよつと待って…聞いてない  
マオちゃんは黒衣のイケメン魔神様  
みたいのを想像してたの！  
せめてエツチのお相手は人型にして！

ご安心を！魔神樹様は  
捧げられた娘を中に飲み込んで数億本とも言われる触手で  
愛撫してイカせまくり！  
そして強大な魔力の源である淫紋を授けて下さりますぞ！

なんかほほイケニエ的な扱いのやつじゃん！

もうマオ様の名前でイケニエ登録してるので  
さっさとヤラれて強化されてくだされ！

イケニエそのものになった！



やめな...!!  
絶対や...!!  
やだ...!!  
やだ...!!



あんどん♡

魔神樹さんは触手を伸ばして私を樹の中に取り込んでいくのだけど、その触手は私の身体を感じやすい所的確に巻き付いて締め付けて、すでに私への愛撫になっていて私の悲鳴はすぐ甘い吐息に変わっていった。…こんなエッチなカラダになったの絶対勇者きゅんのせいだ…。





魔神樹さんの中で  
吸盤付きのタコの足みたいなの触手に  
全身を舐められるように這い廻られ  
膣とアナルを同時に犯されている。  
初めてなのにお尻のがスゴくて  
全身が痺れるような快感に襲われて  
それと同時に全身を吸い付くように  
締め付けるように這いまわる触手に  
私は何度も身体を痙攣させている。

オシッコ  
スズク

ん…気持ちいい…  
欲しい所に全部届いてる感じがする…。



触手は膣内の吸盤からドロツとした精液を何度も吐き出ししては、別の触手に交代し絶え間なく膣を犯し続ける。私は数えきれないほど絶頂を迎えていた。そして回数を経るごとに子宮がどんどん熱くなってくる。身体が火照ってどんどん疼いてくる…。

イワ♡あ♡  
イワ♡  
また  
イッちゃう♡  
ああん♡

この熱さは、魔神樹さんから私に与えられた魔術的な力。



子宮がどんどん熱くなって、  
お腹に淫紋と言われるものが  
浮かび上がると、自然と熱さが引いて  
触手も私を犯す動きを止めた…。  
私は気持ちいいセックスを出来て、  
満足して魔神樹さんにお礼を言っと、  
魔神樹さんは神様らしく優しく  
私を地上に解放してくれた。

ありやと♡  
マジマジきゅん♡  
♡♡♡  
スゴかった♡

私は力に興味はなく淫紋はちよつとオシヤレじゃん？  
くらいに考えていたんだけど…すぐ問題が発覚した。



墨ノ月21日

起床すると、魔王城の上半分が消し飛んでいた。  
上半分は私の寝所くらいしかなく  
ちよつとしたけが人くらいで  
みんな無事だったんだけど…

やあ猫きゅん♡  
どうして上で寝てたマオちゃんは  
無事だったんだらう？



…うん…



え？私？みんなのアイドル  
ミラクル★マオちゃんが  
吹き飛ばした？

あの一撃は雷帝に負けないほどの力でしてぞ  
あの力を使って暴君として魔王らしく  
魔界を治めて下され…

そう言う前時代的な魔王イメージは  
マオはあんまり好きじゃないんだけど  
やっぱり淫紋の力なのかな？

はい！淫紋というのは性的な快楽が魔力として蓄積されます。  
マオ様はあれ以来17回も自慰行為をされており、  
どんどん蓄積されてしまい暴発したようです。

じゃあ淫紋消してくるよ♡  
マオちゃんはオナニーやめれないし力も要らないから

猫きゅんは、淫紋を残して力での魔界統治を望んだけど、  
私は解呪をするためにエルフの国に帰郷したのだ！

つかなんでオナニー回数を知ってるんだ？猫きゅん！



私の育ったエルフの村は呪いを説く解呪で有名で、  
解呪の泉を温泉化しているのだ。

あ♡  
お姉ちゃん♡

ちよつと前キヤピオカ祭り  
でファーストキスしたとか浮か  
れてさピュアだったマオがも  
う淫紋作ってる♡

あん♡マオだってもう子供  
じゃないんだもん♡  
オクさんともしたし立派な  
大人エルフだよ♡



♡♡♡  
♡♡♡



お姉ちゃんは優しく動かしていた指を私の感度に合わせて、速めていくと私はすぐ絶頂に達した…。

ウフフ♡

おイキ

なまこ♡

おた♡  
イマ♡イマ♡  
お姉ちゃん♡

イク頃には淫紋はきれいに消えている。

お姉ちゃんはエルフの例にもれず

年齢が見た目よりもはるかに高く、

知識も豊富で高度な魔術師でもあるのだ。

お姉ちゃんが大好きでとても尊敬しているから

お姉ちゃんに解呪をお願いしてよかったと思った。



おしん

...

改めまして  
おかえり  
私の  
可愛いマオ♡

ただいま♡  
私の大好きな  
お姉ちゃん♡

マオが魔王になるって  
言い出した時は  
反対だったけど  
元気な姿を見たら  
それでよかったんだね。

うん♡  
超楽しいんだよ♡

マオが行ってしまった後、  
お姉ちゃんはマオの事たくさん考えたんだ。  
マオを初めてエルフの国に連れて来た時、  
エルフのみんなは魔王の血を引くマオを  
恐れて偏見の目で見る人が多かった！。



そうだったかな？  
みんな最初から  
優しかったような？

そう♡

マオは  
天真爛漫な  
明るさですぐ  
みんなの心を  
開いていったの。

楽しいほうがいいもん♡  
マオはリア充パリピ♡

だからすぐ私は安心できた…  
いつも元気なマオは  
寡黙で真面目なエルフ達の  
私にとって癒しだった…。  
でも…

マオは誰が癒すんだらうって？  
マオの心の孤独は  
誰が埋めるんだらうって？  
私は何も考えていなかった。



お姉ちゃんは  
心配性だなあ  
マオは大丈夫♡

私はウソをついてる。  
最初にエルフの国に  
来た時、  
凄く怖かった。  
魔王の力を残した  
私への排他的な  
刺さるような視線。  
明るく振舞い続ける  
ことは、防衛手段だった。  
心配かけたくなくて、  
お姉ちゃんにも秘密…  
打ち明けたのは1人だけ…

うん♡  
愛してるから心配なんだよ…  
そうだ…マオ…  
淫紋は消えたけど  
帰りに入浴剤の解呪バブを  
持って帰って念のために何回か  
魔界でもお風呂に入ってるね。

わあい♡それが欲しかったんだ♡  
後でお礼のキヤピオカいっぱい送るからね♡

二つして無事に淫紋は消えて、無力な魔王ちゃんに戻ったのでした。



ねえね♡カレィきゅん

降格しすぎて商品になった!

そろそろ勇者きゅんを何とかする準備が整ってきたんだけど  
衣装というか、制服のままだとアレだし  
キレイで豪華なドレスを作りたいんだ♡

マオ様?あの...大変言いづらいのですが、  
マオ様の改革は大成功で魔界は治安もよくなり  
経済も福祉も大幅に成長しているのですが、  
軍事面が一切整っていません。  
勇者迎撃態勢は魔王城にはありませんぞ?

猫きゅん♡マオちゃんを信じたまえ!  
いいからドレスが欲しいの♡

うむ...それならスパイダーシルクがいりますな...  
しかしアレは女子しか採取できぬ素材...

なんか記憶にある展開だけど、  
そう言う事ならマオちゃんが取って来るね♡





予想通りというしかなく蜘蛛に糸でぐるぐるされるながら、  
蜘蛛の尻尾の器官を挿入されて犯されている…。

じゅぽっ  
びゅっ  
びゅっ  
じゅぽっ

蜘蛛の器官は、  
男性器よりも太く長く  
私の子宮まで届いて  
気持ちいい所をかき回しながら、  
絶え間なく音を立てて射精している。  
精液は私の愛液と混じり合って、膣は蜜壺となって蜘蛛はより動きを速めていく。  
蜘蛛の感情のない本能のままの動きは、私の本能をすっかり刺激し私も快感を強めていった。

ん♡  
ん♡  
ん♡  
やだ♡  
ん♡  
ん♡



元々気持ちいいことが好きな快樂主義な私は、初エッチから短期間の間で、こんな本能のままのピストン運動で何度でもイクように、身体は開発されていて蜘蛛の行為で何度も絶頂に達し続ける。

ビュン  
ビュン  
ビュン  
ビュン  
ビュン

蜘蛛は魔術礼装に不可欠なシルクを提供する代わりに、産卵するための苗床を求める。  
蜘蛛にとってこれは生殖行動であり性行為をして終わりじゃない…。  
つまり「」から産卵が待っているのだ。

あ♡ん♡あ♡ん♡  
やら♡ん♡  
もうやらぬ♡  
またイク♡  
イッちゃう♡  
あ♡ん♡



私との性行為が終わると、  
蜘蛛は私を糸で巻いて繭に包み込んだ。  
蜘蛛の精液が私の卵子で受精し、  
お腹で卵が育っていき  
どんどん膨らんでくる。  
卵が十分な大きさまで育つと  
私の膣に管を挿し込んで、  
袋の中に卵を回収していく。

パンパンに張ったお腹は、  
他の臓器を圧迫して、  
私は苦しみの息を漏らすほどだった。  
卵がひとつひとつ吸い出されていくのは、  
苦痛からの解放と、

性器をゴロゴロと転がるように抜ける卵の  
性的な快感で、産卵にはセックスでは得られない気持ちよさがある。



ひとときわ大きな卵が通り抜けていく…。  
より大きな圧迫感と解放感…。  
歯を食いしばってカんで  
押し出して卵が出ていく感覚は、  
落下していくように  
全身が鳥肌立つようなゾワつき。

ゴポッ  
ゴポッ  
じゅる…

ゴポッ

あうん♡

ゴロリと転がって  
大きな塊が湿った音を立てて、  
排出される。  
大きな快感が全身を包み、  
さらにもうひとつと  
その快感のために産卵を続けた。



気持ちいい…♡  
魔界の生物は  
女の子に産卵をしてもらわないと  
種を維持できない生物が多い。  
そのため  
女の子は大切に扱われるし  
傷もつかない。

ズルズル…

こういうプレイとして

割り切れば、

またしてあげてもいいかな？

くらいの気持ちで

セックスを終えられるから、不思議だ。

って感じで私は衣装もゲットした！



橙ノ月 17日

魔王殺す…

…キヤピオカ…

勇者きゅんが魔王城に現れる。  
対決の時…

キヤピオカ…

勇者の力を感知し警告音がなり、  
魔王城からは私を除くすべての生物は避難した。  
城の準備は整っている…あとは私ひとりの問題なのだ…。

なんだ…？「」は…これが魔王城…？

キヤピオカの花…

まるで…あの…祭り…だ…



おかえりなさい…  
勇者君…



勇者君…私達は  
キヤ。ピオカ祭りでお会って  
それから一年を過して  
またキヤ。ピオカ祭り  
想いを伝えあつて  
将来を誓い合つた…。

可愛いマオちゃんがずっと  
君を待ってたんだぞ♡  
だから…  
武器なんか置いて♡  
抱きしめてよ…  
勇者君…。





勇者さま♡

あ♡ん♡

ハッ♡

あ♡ん♡

ハッ♡

♡

あ♡ん♡

ハッ♡

あ♡ん♡

ハッ♡

勇者きゅんは呪われたアンデッドだ...。  
魔王を殺すという短絡した思考のみで  
意思の疎通はほとんど持てない...。  
でもあの時も今も、私を殺そうとしない。  
勇者きゅんの中に感情が少しだけ残ってる。



私と勇者きゅんは似ていた。

エルフという女性のみの生き物は、性交渉の相手方の  
男性の遺伝子をほぼ排除し子供へと受け継がせない。  
でも私は父親の魔王の因子を強く含んで生まれた。

お姉ちゃん曰く私は魔王になる運命を持った子。  
その運命から逃がされてエルフの国で育ち、  
どこか異分子として扱われた孤立した存在。  
勇者きゅんは強大過ぎる力で恐れられ  
世界から孤立した存在。

あ♡あん♡

勇者キョウ♡  
妹を♡

じゅん♡

じゅん♡

マオ達は、お互いを理解出来すぎて  
愛し合うのが必然だった……



あつ♡勇者まっちゃん♡

出てる♡はっ♡出てる♡

スブ♡の♡

イン♡イン♡イン♡イン♡  
アキ♡ち♡の♡



大好きな勇者きゅん♡  
こんな所でしたから  
汚れちゃったし  
お風呂に行こう…  
エルフの国の入浴剤入りだぞ

射精して少し大人しくなった勇者きゅんを、  
私は城の浴室に手を引いて誘導する。  
お姉ちゃんからもらった解呪バブを入れた浴室に…



勇者きゅんの手を引いて一歩ずつ浴室へ進む。

「めんね勇者きゅん……」

アンデットから呪いを解く……

つまり不死人から不死を解けば……

元の死人に還る……

これは最初に思い付いた勇者きゅんを救う方法だった……

生き返らせる方法をその後も文献から探した。

でも方法はなかった……

奇跡なんてない。

だからせめて出会ったあの時を再現して、

人として……

それがせめてもの最後の私の願いだった。

「めんね……めんね……」

解呪のお湯へと足を踏み入れる勇者きゅんは、

それが何かを理解しても暴れずに、

自ら解呪へと進んでいくように見えた。

ありがとう…マオ…  
闇に包まれて真っ暗で自分でも  
何をしているかわからなかった…。  
その中に懐かしい景色と君の  
「おかえり」が届いた。

ほんのわずかの奇跡だった。  
勇者きゅんから呪いが解けて、  
それから肉体が消えるまでの少し  
昔のままの勇者きゅんに会えた。

勇者きゅん…マオずっと待ってたんだよね？  
どうして魔王を倒してなんが行っちゃったの？  
2人が居たら世界なんてどうでもよかったの…



マオはよく言ってたね…  
俺達2人は同じ境遇で似てるって…

同じじゃん？

勇者きゅんだけ…

違うよ  
マオは特別…

俺は何もかも破壊するだけの  
巨大な力を持ち  
世界から忌まれて逃げ回っていた。  
でもマオは違う…。  
魔王の力を受け継いで忌まれても  
逃げず人と関わり誰にでも明るく  
みんなの太陽だった。  
そんなマオに惹かれた…。



君のみんなを惹き付ける魅力は、  
やっぱり魔王の器たる存在で、  
だから大好きなその笑顔が  
魔王になっていくのが怖かった…。

その心の隙に、魔界を滅ぼすという  
人間たちの野心が入り込んだ。  
魔王の存在自体を亡くせばいい…

勇者きゅん…マオは魔王になったけど…  
笑顔は変わってしまった？



それがね…  
大好きな君のまま過ぎて  
安心してるんだ…  
命がけで戦ったの「君」を  
滑稽だる？

そんな「と」ないよ  
私のため「と」ありが「と」  
勇者きゅん…愛してるん…

「と」して勇者きゅんは、  
私だけにしか見せない笑顔のまままで消滅した。



